

一般質問発言通告書

発言順位 6番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年6月11日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 16番 佐野 淳 祥

質問事項1	ふるさと納税について
具体的内容	これまでふるさと納税について、何度か一般質問をさせていただきました。利潤については、平成27年9月議会1200万円、平成29年2月議会1400万円、それぞれプラスでしたが、令和元年9月議会では約1億円のマイナスとの答弁でした。 また、ふるなび、ふるさとチョイス、さとふるのHPを拝見したところ、三島市では177件～353件の返礼品が用意されています。総務省からは「三つの意義」が提示されており、第一に「その（税の）使われ方を考えるきっかけとなる」、第二に「生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域に、これから応援したい地域（となる）」、第三に「地域のあり方をあらためて考える（自治体となる）」としています。よって、以下のとおりお伺いいたします。
	1 昨年の利潤はどうだったか。 2 寄付金の使い道の項目と、それぞれの寄付金額について 3 返礼品の選定や、調達はどのようにしているか。 4 寄付額70万円の「頼朝公旗挙げ行列『騎馬武者役』」は、現在どのような状況か。 5 転出者へのPRは、効果的にできているか。 6 文化芸術の返礼品として、小田原市ではチェロ奏者のコンサート独占権352万円、複数の地元アーティストの作品864万円などあるが、三島市でもセレクションを増やすことはできないか。 7 清水町は、令和4年6月に「店舗型ふるさと納税」が導入されたが、当市でもできないか。
質問事項2	旧市内はじめ各地区の発展と行政サービスについて
具体的内容	私が生まれた1975年度は各地区の人口分布が、旧市内44%、北上19%、錦田18%、中郷20%でした。現在は、それぞれ31%、25%、20%、24%となっており、旧市内に住む人が少なくなっています。各地区が課題を抱える中で、今後さらにそれぞれが住みよい地域となっていくよう、以下のとおりお伺いいたします。
	1 各地区防災センターは、今後学校等に機能移転し、現在地は廃止する予定。しゃぎりの練習場所の確保に困っている町内が多々あるなか、この地区防災センターを音場環境と太鼓等の収納を整えた練習会場として、使用したいとの声がありますが、当局はどう考えるか。 2 錦田地区は、農産物のメッカでもあるが、県道三ツ谷谷田線は、メディアにも多く取り上げられる食の集積地でもある。生産と食が連携した「グルメ街道」のような推進はできないか。 3 北上市民サービスコーナー、中郷市民サービスコーナー、錦田公民館などの窓口において、デジタル庁と三島市が推進する各種証明書等のコンビニ発行できるスマホの操作を、地区の皆様に率先的に教えるサービスはできないか。